

合宿オリなど新歓行事で迎えて以来早くも四星霜。激動の時代に本学で青春の情熱を傾けた諸君を社会に送り出す時がめぐってきた。それぞれが多様な成長を遂げたはずと思いつつ、何よりも、喜びも悲しみも共にできる友をこのように育ててきたことが、うかがいあがる。それは、かけがえのない生涯の宝だからである。

諸君の学生時代は、まさに激動のときであった。諸君がこれから踏み出す社会の歴史的背景は、一層の進歩的要因と共に、様々な歪みを伴いながら、複雑さを増すに違いない。その中であって願わくは、物事を正確にとらえて自ら考え、心を掛け、人間を大切にすることを失わないうでほしいと思つた。

ところで、人間誰しも大なり小なり「目標」とか、「理想」を持つはずである。とくに若い時代に抱く「夢」は貴重なものといふべきである。

だが、それは大きいほどに現実との落差が大きくなり、それを押しつぶす厳しさをもちて迫ってくる。そのような想うようにならない事態に人はしばしば陥り、挫折や絶望を味わうことがある。その際、目標を段階づけて考える。さて本学はもともと創立五十周年を迎える。この半世紀に、目標を段階づけて考える。さて本学はもともと創立五十周年を迎える。この半世紀に、目標を段階づけて考える。

実発展をめざしたい。そのために卒業生諸君が社会の各界で実績をあげ、多忙な中であつて後輩に心を配って頂くことが何よりも心強い支えになる。その際、母校への暖かい援助と共に怠らない注文や意見も寄せしてほしい。

これからの科学技術や文化の発展は、日進月歩、めざましいものがあつて、諸君は社会生活を営む中で自らのリフレッシュが絶えず求められるであろう。大学のあり方としても、これまで以上に社会成員の再教育機関としての役割が期待されている。本学では伝統的に勤労者に門戸を開くためII部を設け、多くの卒業生を送り出してきた実績を有する。これを基盤として、弾力的な制度改革を工夫し、時代の要請に応えたい。

卒業生諸君が、自信をもって社会に船出し、荒波の中で一層逞しく成長することを心から期待している。

近い歩みの中で、他大学に比べて少ないほどの発展を遂げたといえよう。これからは、大学をとりまく諸条件が厳しくなるが、蓄積された構成員の力量と社会的支援によって後半世紀へ向かつて一層の充ちてほしいと思つた。

明年度は今年以上に厳しい展開が予想されるので、すでに三年生向けのガイダンスを三回の他、個人面接、業界研究会、体験報告会等を開催し、就職に打ち勝つための諸施策を展開中である。

なお、今年度の就職状況は別表の通りである。

平成4年度の就職戦線は年明けまで一部残っていた公務員関係の発表も終り終了した。

今年度の就職戦線は昨年度とは大きく様変わりし「超売り手市場」から「転じて採用引き締めによる「厳選市場」となった。

求人件数は経済動向を反映して二千七百三十三件、前年度(三千五百五十六件)を大きく下回り、採用選考も経済見通しが立たないまま開始され、合同説明会や企業説明会等が積極的の繰り返されたが、なかなか内定の結果がでないなど学生側の焦りが先行

する形となり、はっきりと「量から質の採用」が目につく、学生にとっては非常に厳しい就職戦線となった。

就職内定のペースは例年より遅れたものの、十月末まで民間志望者の大半が内定を得た。その内定状況を見ても約一人に一人は上場・優良企業に就職するなど新規開拓を含めて善戦が目立った。

また、公務員では北海道上級職員の四名(既卒者含む)、中級十九名は前年を下回ったものの国家II種十名、国税専門官三名、札幌市二名はそれぞれ前年を上回り善戦したとも言える。

健康目立つ92就職戦線

半数が上場、優良企業に

明年度は今年以上に厳しい展開が予想されるので、すでに三年生向けのガイダンスを三回の他、個人面接、業界研究会、体験報告会等を開催し、就職に打ち勝つための諸施策を展開中である。

なお、今年度の就職状況は別表の通りである。

何ごとにも積極的に

法学部法律学科 加藤 寛泰

い感謝しているのですが、その時間を有意義に使う事が出来ず、悔いが残っています。あれもこれも良かった、これもあれも良かった、とどろり残した事ばかりです。大学は学問を学ぶ所です。しかしこれだけではありません。大学生は、社会生活(遊びも含め)を学ぶ場であり、親(悪)友をつくる場でもあると思います。いすれにしても、自分から積極的にアクション

ゼミ活動をアピール

商学部商学科 後藤 貴幸

私は大学生活で主にゼミ活動に力をいれました。私の所属していたゼミは、毎年、他大学のゼミとの交流を目的とした研究討論会に積極的に参加しており、今年度も同様に参加しました。その討論会に参加するための事前準備には力を入れ、通常のゼミの時間以外にも時間を割いて、その準備に追われる毎日でした。討論会では、他大学のゼミの研究成果の濃さを痛感し、改めて勉強になりました。

以上のことは、就職活動にプラスになったと思つています。特に面接では、学生生活で何に打ち込んだかは、受験した企業すべてから問われましたが、ゼミ活動について、自信をもって答えることができました。

ですから後輩の皆さんも、常に自分を見つめ直し、就職活動の糧として、何かひとつでいいですから、大学生活で打ち込んだことを見つけて下さい。

満足できる就職活動を

商学部商学科 西間 互

私の就職活動は四月の初めからでした。最初は何をしたいかわからず、名の売れている会社を二社ほど資料請求した後、その中の九社とアポイントをとり、活動は始まりました。別にしほつていったが、会社訪問をしたただき、微力ながら全力を尽くそうと思つています。後輩の皆さんも全力で頑張ってください。

ホクレン農業協同組合連合会 内定

早めにスタート

余裕をもった就職活動

商学部第一部商学科 古本 慶孝

特に入社試験で最も大切な面接に対する心構えにおいて、なぜ、志望するのか、やりたい仕事は何か、四年間の学生生活は自分は何をもちたのかなど、自分自身を見つめ直す時間があり、余裕をもって、就職活動をすることができました。

どうか今年、就職をひかえた後輩の皆さんも早くから資料を集め、就職活動をする必要が分かります。早めに手をうつことが出来ました。

日本清酒株式会社 内定

チャンスのある限り挑戦を

人文学部英語英米文学科 石川 三恵子

ていきました。結果的には、自分の夢と違つた就職先に内定を頂いています。自分の夢への未練がない、というわけではありませんが、夢は違つてしまつてもいいと思つています。挑戦する前に無理だから、とあきらめ、楽な現実を選んでいたら、おそらく後悔の残るまま、卒業をむかえたことでしょう。

就職活動を通して、「やらせてあげよう」といふことの意味を、やっとわかることができました。

学校法人静修学園内定

海外レポート

シエフィールドの町から

人文学部教授 及川 英子

仲々従っていけないの横から面白がって見えています。先生の方は、この連中はほんとにも勉強をしないとほめていますが、彼らは楽しんで分分トントンカンな答で堂々と先生を悩ませます。ニュー・ヒストリシズムの旗手、Prof. ハタウェイも形無しといった図は、仲々の見物だと楽しんで見ます。

もう朝の八時過ぎたのに窓外はまだ薄明の中に沈んでいます。夏の日の太陽を恋する詩人の心境がよく分かる毎日です。では。

93入試速報

志願者数一万四千五百名

最大志願者

厳しい入試環境のなかで三年連続・道内私立十八才人口の急減期が始まりました。昨年末に実施した推薦入試(表1)は、人文学部が二七名増となったほか、予想通り厳しい状況となつた。上回る志願者となったが、一は、いずれも減少した。

表1 平成5年度一般入学試験出願状況

| 学部・学科 | 志願者数(推薦除く) | | | 対前年 |
|--------------|------------|------|--------|-------|
| | 93年度 | 倍率 | 92年度 | |
| 商学部第一部商学科 | 2,339人 | 18.0 | 2,727人 | 85.8% |
| 経済学部経済学科 | 3,523 | 28.2 | 3,697 | 95.3 |
| 人文学部人間科学科 | 1,526 | 18.0 | 1,464 | 104.2 |
| 人文学部英語英米文学科 | 909 | 20.2 | 844 | 107.7 |
| 法学部法律学科 | 1,881 | 15.7 | 1,923 | 97.8 |
| 社会情報学部社会情報学科 | 1,989 | 15.9 | 2,271 | 87.6 |
| 商学部第二部商学科 | 1,105 | 20.1 | 1,163 | 95.0 |
| 合計 | 13,272 | 19.4 | 14,089 | 94.2 |

※商学部第二部商学科は一期試験のみ

表2 平成5年度推薦入学試験結果

| 学部・学科 | 志願者数 | 合格者数 | 倍率 |
|--------------|-------|------|-----|
| 商学部第一部商学科 | 221人 | 114人 | 1.9 |
| 経済学部経済学科 | 259 | 119 | 2.2 |
| 人文学部人間科学科 | 186 | 87 | 2.1 |
| 人文学部英語英米文学科 | 72 | 39 | 1.8 |
| 法学部法律学科 | 132 | 121 | 1.1 |
| 社会情報学部社会情報学科 | 201 | 100 | 2.0 |
| 商学部第二部商学科 | 188 | 57 | 3.3 |
| 合計 | 1,259 | 637 | 2.0 |

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

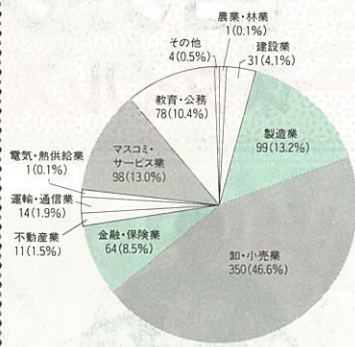
シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

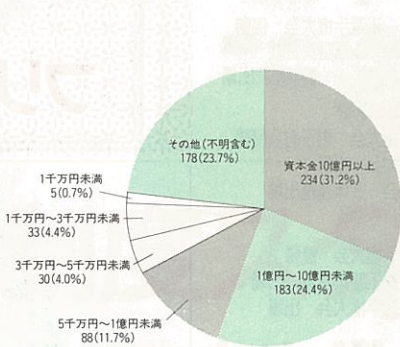
シエフィールドの町並みを望む

シエフィールドの町並みを望む

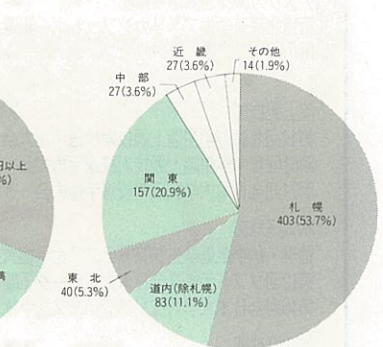
業績別内定状況



規模別内定状況



地域別内定状況



就職戦線に主役として立ち向かう諸君へ

就職部長 生田 邦夫

昨年の就職戦線は、予想外に厳しさがあがり、諸君の先輩は苦戦を強いられました。

このような深刻化した就職環境の中で、諸君が就職戦線に立ち向かい、内定を勝ち取るにはどのような道があるのでしょうか。

側が言う良い学生とはどういふ学生でしょうか。それは「はつきりとした職業観と人生観をもち、健康で明るく何事にもチャレンジ精神旺盛な学生」である。

昨年から今年へと続く厳しい就職戦線は、確かに客観的には不利な状況下にありますが、諸君一人一人にとっては、就職戦線を勝ち進んだ者になります。

来るべき就職活動に万全を期して頂きたいと思えます。就職活動は、諸君が身をもって取り組むべき大学生活最後の課題であります。

高校卒業で社会人を経験、二浪と同じ身で、厳しいと言われた就職戦線を迎え空振り三振のヤマを予想してしまいが、挑戦六社のうち三社から内定を戴き、その三社目が第一希望の鹿島道路。七月末に就職活動を終えることができ、この間、教職員の方々のご助言、ご協力を戴き、深くお礼を申し上げます。

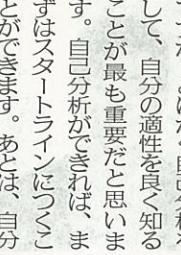
さて、就職活動のポイントですが、とにかく自己分析をすることが最も重要だと思えます。自己分析ができれば、まずはスタートラインにつくことができます。

生田 邦夫



適性に合致した企業を

法学部法律学科 佐藤 明宏



平成五年度 学費の改訂について

鹿島道路内定

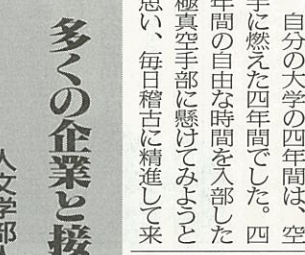
Table with 4 columns: 年度, 新学費, 現行学費, 差額. Rows include 1st year and 2nd year+ fees for various departments.

4年間の学生就職活動をふり 後輩諸君へ!

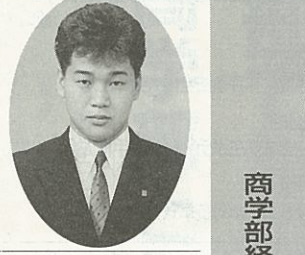
景気後退の影響を受け、就職戦線は一転し量から質へと転換、各企業とも採用「超売手市場」から採用引締めによる「厳選市場」になった。



自分の大学の四年間は、空手に燃えた四年間でした。四年間の自由な時間を入部した極真空手部に懸けてみようと思ひ、毎日稽古に精進して来た。

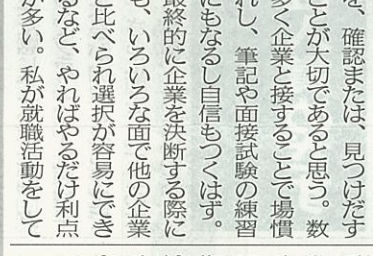


多くの企業と接し自信を 人文部人間科学科 小熊 貞



自分のビジョンを持つこと 商学部経済学科 鈴木 良児

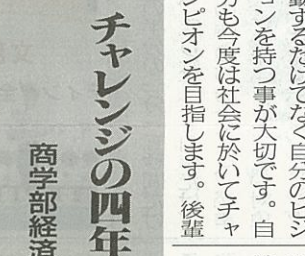
自分のビジョンを持つこと 商学部経済学科 鈴木 良児



チャレンジの四年間 商学部経済学科 山本 久美子



チャレンジの四年間 商学部経済学科 山本 久美子



チャレンジの四年間 商学部経済学科 山本 久美子

チャレンジの四年間 商学部経済学科 山本 久美子

平成五年度学費の改訂について 鹿島道路内定

平成五年度学費の改訂について 鹿島道路内定

平成五年度学費の改訂について 鹿島道路内定

平成五年度学費の改訂について 鹿島道路内定



おくりやみ 山田 泰作氏



おくりやみ 山田 泰作氏



おくりやみ 山田 泰作氏

おくりやみ 山田 泰作氏

1年間を振り返って

体育系クラブ主な成績一覧

- ◎アメリカンフットボール部
 - 第18北海道学生アメリカンフットボール選手権大会 優勝
 - 第7回東日本学生アメリカンフットボール王座決定戦 2年連続出場
- ◎陸上競技部
 - 第44回北海道学生陸上競技対校選手権大会 男子総合優勝
 - 第61回日本学生陸上競技対校選手権大会 出場
 - 第24回全日本大学駅伝対校選手権大会 3年連続出場
- ◎軟式庭球部
 - 春季・秋季全道学生ソフトテニス選手権大会 優勝
 - 第12回ソフトテニス全日本大学リーグ王座決定戦 出場
 - 第46回全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会 出場
- ◎軟式野球部
 - 第13回東日本学生軟式野球選抜大会 出場
- ◎羽球部
 - 第35回東日本学生バドミントン選手権大会 出場
 - 第46回全日本学生バドミントン選手権大会 出場
- ◎ゴルフ部
 - 第46回日本学生ゴルフ選手権競技大会 出場(杉浦)
 - 第21回全日本学生ゴルフ王座決定戦 出場(杉浦)
- ◎洋弓部
 - 第5回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会 出場(金山)
- ◎自転車競技部
 - 第48回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 出場
 - 第6回ワールド北海道 北海道選抜3名出場 (浦崎・大塚・風間)
- ◎少林寺拳法部
 - 平成4年度少林寺拳法全国大会 出場
- ◎ボディビル部
 - 第27回全日本学生ボディビル選手権大会 出場(山口)
- ◎卓球同好会
 - 第62回全日本大学対抗卓球大会 出場

世界大会で大躍進

フリースタイルスキー(モーグル)・グラススキー



フリースタイルスキー(モーグル)
岩淵君W杯6位入賞
目標は冬季オリンピック

フリースタイルスキーのワールドカップ(W杯)第三戦は、一月九日カナダのブラッコムスキー場で男子モーグルが行われ、大学生として初出場した岩淵隆二君(人間科学科二年)が六位入賞の快挙を成し遂げた。この入賞により、来年のリレハンメル冬季五輪の代表選手に大きく近づき、学院大初のオリンピック選手の誕生が濃厚となった。

昨年「フリースタイル選」で得点が争われる。アルペリルビル冬季五輪大会から正式種目となり、テレビ中継されてからは、スキー競技の新たな種目として、若者を中心に競技人口も着実に増えている。

岩淵君は、小学生でSAJの二級を取得し、高校一年からモーグル競技を始めた。全日本大会で好成績を収め、競技成績を評価されスポーツ推薦で札幌手稲高校から人間科学科に入学した。

本学のスキー部には、現在フリースタイルの部員がいない。学外のクラブチーム(チームエクストリーム)で練習している。今年のスポーツ推薦ではチームメイトで、現在高校ナンバワンの原大虎君(札幌稲穂高校)が合格した。今年は二人で本学のスキー部にフリースタイルチームを結成し、国内外の大会に参加する予定である。

岩淵君は十月に開催された「フリースタイル選」で五位に入賞し、今回のW杯出場に向けて弾みをつけた。

W杯は一月から二月までの一月間カナダとアメリカで四戦行われた。今後の彼の活躍に期待したい。

スキー部
グラススキー
FIS大会出場記
商学部二年 楠木孝司

私は昨年十月に、台湾の台北市にて開催された「グラススキーコンチネンタルFIS(国際スキー連盟大会)」に一年に一度の日本チームのエースとして派遣されました。大会は、イタリア、オーストリア、スイス、フランス、チェコスロバキア等のヨーロッパ各国の強豪選手が招待されており、まさに世界のトップ選手が顔を揃えました。アジアからは、地元の台湾、そして韓国、日本の選手が出場しました。

大会期間中は素晴らしい天候に恵まれ、コースコンディションも最高でした。幸い自

全国大会で上位入賞めざす
応援指導部チアリーダー

応援指導部チアリーダーは今年で四年目を迎へ、現在十二名。今春には本学初の卒業生を送ろうとしている。

野球やアメリカンフットボールの応援をはじめ、入学式、三大学定期戦開会式に出演するなど全学的行事には欠かせない存在となってきた。

さらに、競技としてのチアリーディングでも実績を積み重ね、十二月の全日本大学選手権大会など年間三つの全国大会に出場し、着実に力を蓄え全国の評価も高まって来た。チアリーディングは、十六名以内の選手によって、二分三〇秒の間で行われ

練習している。今年のスポーツ推薦ではチームメイトで、現在高校ナンバワンの原大虎君(札幌稲穂高校)が合格した。今年は二人で本学のスキー部にフリースタイルチームを結成し、国内外の大会に参加する予定である。

岩淵君は十月に開催された「フリースタイル選」で五位に入賞し、今回のW杯出場に向けて弾みをつけた。

W杯は一月から二月までの一月間カナダとアメリカで四戦行われた。今後の彼の活躍に期待したい。



ゴルフ部
期待の新人杉浦君(一年)
全道チャンピオンに

(高さ、タイミング、ピラミッド、スタンス(いわば組体操)が組み込まれていることが条件となっている。)

本学は昨年より全国大会出場のため、無名であったが大毎に評価も高まり、本学でチアリーディングを続けた。

米対抗戦の日本代表(全国で十二チーム前後を予定)を目指し、決意を新たにしている。

この大会は全国から選抜された七十九名により行われ、残念ながら予選を通過する事は出来なかった。

杉浦君は「北海道学生ゴルフ選手権(七月・札幌国際CC)」においても初出場し、優勝を挙げ、「第四十六回日本学生ゴルフ選手権(八月・岐阜・富士CC)」にも出場した。

今年度二度の全国大会出場は彼の貴重な経験となり、来期の全国大会出場へ向けて、この冬も猛練習に励んでいく。杉浦君の今後の健闘が楽しみです。

アメフト部
初の実業団選手誕生
オンワードオーフェスへ入団

北海道学生選手権で二連覇を達成したアメリカンフットボール部から創部十四年目で、初の実業団選手が誕生した。

オンワードオーフェス(昨年度実業団日本一)に入団が決定したのは、オフェンスライナー(攻撃)のかなめ佐藤敏弘君(経済学科・タックル)と山山君(人間科学科・タックル)とティフエンス(守備)の鈴木佳樹君(英語英米文学科・コーナーバック)の三人である。一昨年初優勝の牽引車となった「学院大巨漢コンビ」の佐藤君(身長183cm・体重92kg)と山山君(身長185cm・体重110kg)にオンワードのコーチが注目したのがきっかけとなり、春のスランボウル選抜「大学から始めたアメリカンフットボールで実業団入り」

三人は北海道と関東のレベルの違いもあり、当初入団を悩んでいたがヘッドコーチ自ら足を運び説得し、さらに東日本学生王座決定戦に二年連続出場し東北大学(二年連続全国地区対抗王座優勝)を相手に互角に戦った事が自信となり、入団を決意した。

「大学から始めたアメリカンフットボールで実業団入り」



鈴木佳樹君 (人文学部英語英米文学科) 山山君 (人文学部人間科学科) 佐藤敏弘君 (商学部経済学科)

大好評のフェスティバル

児童サークル
どろんこの会
子供達の笑顔に支えられ

児童サークル「どろんこの会」は、本学の文化系サークルのなかでも子供達との触れ合いを中心とした個性あふれる活動を行っている。参加した小学生からは「楽しかった」「遊んだことが大好き」「遊びを創る中で、子供達の笑顔に支えられ、遊びの中に夢を求めて活動はこれからも限りなく続く。」

昨年十二月、第十五回目となった恒例のウィンターフェスティバルを体育館にて開催し、大学周辺の各小学校から六十人ほどの小学生を集め、劇や各種のゲームで大いに盛り上がり、楽しい一日を過ごした。参加した小学生からは「楽しかった」「遊んだことが大好き」「遊びを創る中で、子供達の笑顔に支えられ、遊びの中に夢を求めて活動はこれからも限りなく続く。」

吹奏楽団
聴衆を魅了する演奏
高まる人気・団員60名を越す

吹奏楽団は、近年団員の増加によって、演奏水準も格段に向上しており、総勢六十名を越えるメンバーで一年を通して様々な活動を展開している。学内外での活動が活発に行われ、また、毎年大学後援会から寄贈される楽器も充実している。活動は、新入生を迎え、七月はサマーコンサートを開催する一方、文京台地域の町内運動会でもアトラクション演奏を行い、地域住民にも広く演奏を披露している。

夏休みは白老で恒例の「強化合宿」を行い、吹奏楽コンクールに向けて特訓を行った。注目北海道吹奏楽コンクール札幌地区大会では、一般の部で「金賞」を受賞した。

また、この間硬式野球部の大会で応援演奏を行うなど、忙しいスケジュールをこなしている。

秋の大学祭を終えてからは、団の年間活動の集大成となる定期演奏会に向けて毎日猛練習が行われた。

十三回目を迎えた定期演奏会(写真)は、昨年十二月下旬、札幌市教育文化会館ホールにて開催され、洋楽を中心としたプログラムで演奏が披露された。



吹奏楽団の定期演奏会